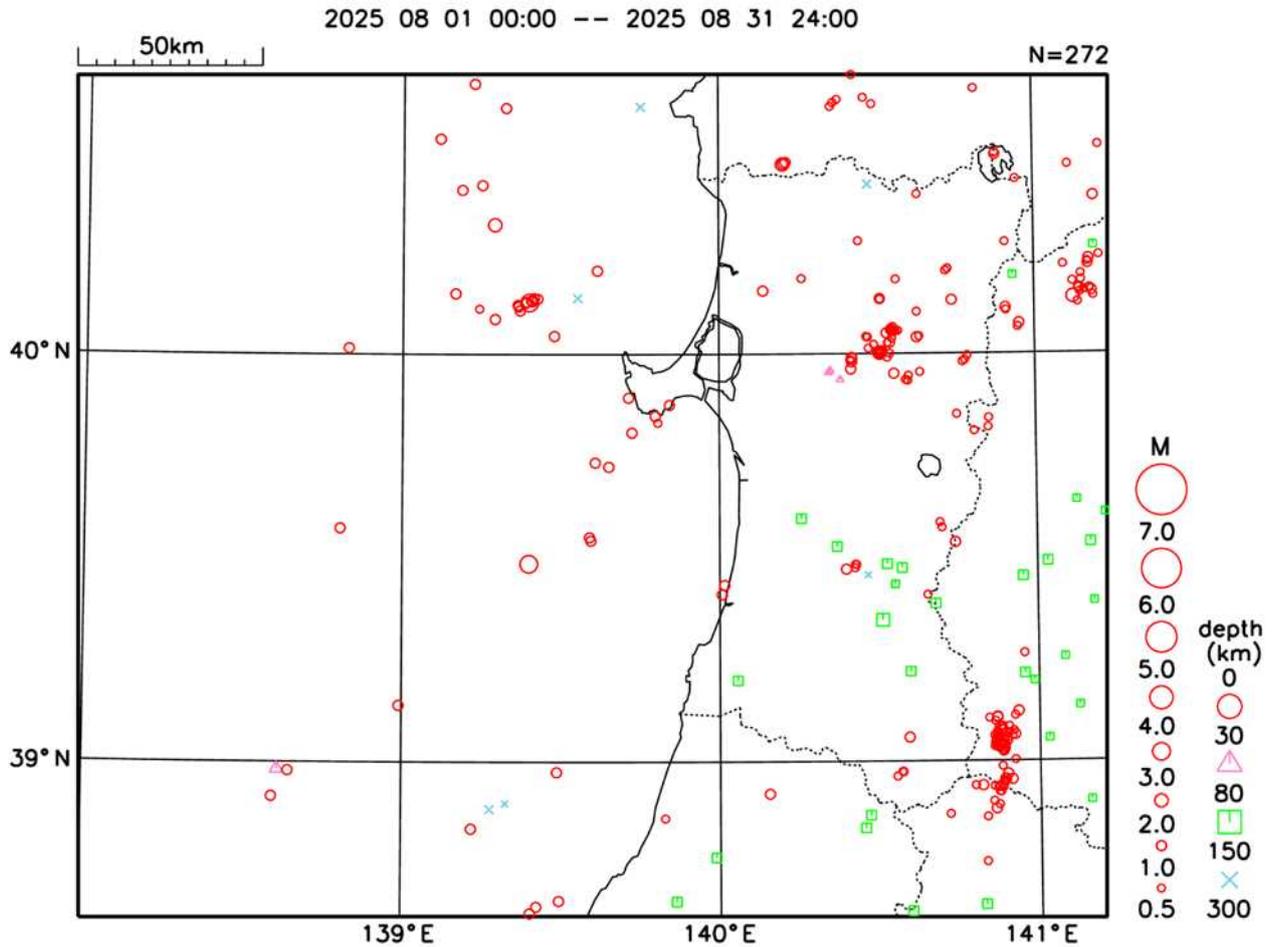


秋田県月間地震概況

秋田地方気象台

2025年8月

【震央分布図】



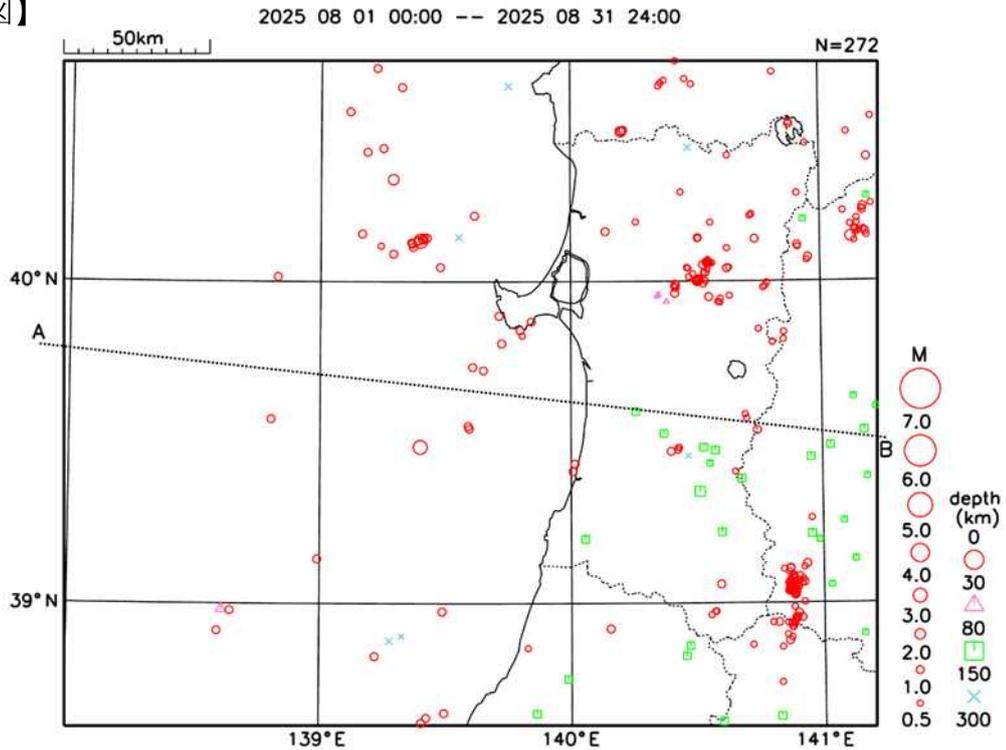
〈8月の地震概況〉

この期間、秋田県内で震度1以上を観測した地震は2回（7月：3回）で、いずれも図の範囲外を震源とする地震であった。

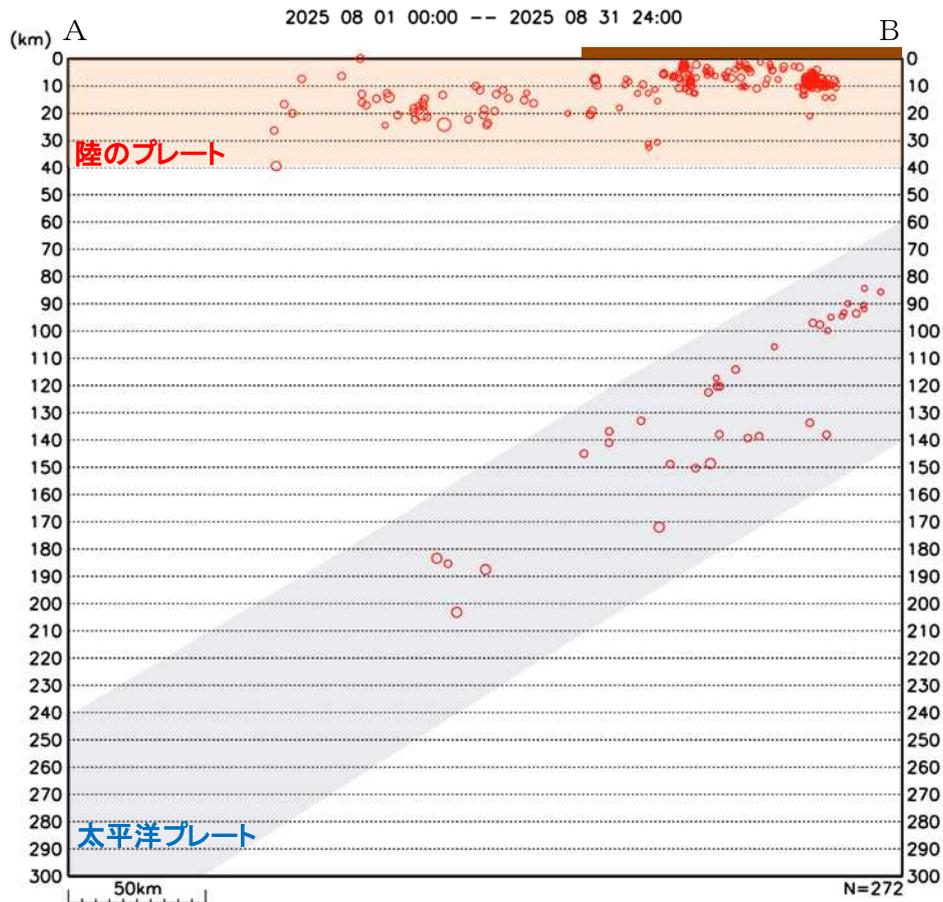
22日07時34分に宮城県沖（図の範囲外）の深さ43kmでM5.6の地震が発生し、岩手県、宮城県で震度3を観測したほか、北海道から千葉県にかけて震度2～1を観測した。県内では横手市、大仙市で震度2を観測したほか、広い範囲で震度1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

30日01時29分に宮城県沖（図の範囲外）の深さ41kmでM5.8の地震が発生し、宮城県で震度4を観測したほか、北海道から静岡県にかけて震度3～1を観測した。県内では能代市、にかほ市、湯沢市、横手市、仙北市などで震度2を観測したほか、広い範囲で震度1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

【震央分布図】



【断面図】 (震央分布図内の直線A－Bを断面として投影した震源の深さの分布)



- ※ 太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。
- ※ —— は陸地の大まかな位置を示している。
- ※ 陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。
 なお、海域地殻内の地震の震源（日本海の浅い地震など）は、実際にはより浅いものが多いと考えられる。

秋田県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2025年 8月 1日～2025年 8月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2025年08月22日07時34分	宮城県沖	38° 41.0' N	142° 14.5' E	43km	M5.6
秋田県	震度 2 : 横手市大雄* 大仙市刈和野* 大仙市高梨* 震度 1 : 能代市上町* 五城目町西磯ノ目 井川町北川尻* 三種町鶴川* 三種町森岳* 秋田市山王 秋田市雄和女米木 秋田市河辺和田* 秋田市雄和新波* 由利本荘市石脇 由利本荘市鳥海町伏見* 由利本荘市岩城内道川* 由利本荘市西目町沼田* 由利本荘市矢島町矢島町* 由利本荘市岩谷町* 由利本荘市前郷* にかほ市平沢* 大館市桜町* 鹿角市花輪* 横手市雄物川町今宿 横手市中央町* 横手市大森町* 横手市平鹿町浅舞* 横手市十文字町* 湯沢市沖鶴 湯沢市川連町* 羽後町西馬音内* 東成瀬村田子内* 秋田美郷町六郷東根 秋田美郷町土崎* 大仙市協和境唐松岳* 大仙市北長野* 大仙市南外* 大仙市太田町太田* 大仙市大曲花園町* 大仙市神宮寺* 仙北市角館町中菅沢 仙北市田沢湖生保内上清水* 仙北市角館町小勝田* 仙北市田沢湖田沢* 仙北市田沢湖生保内宮ノ後* 仙北市西木町上荒井*				
2025年08月30日01時29分	宮城県沖	38° 26.6' N	142° 12.0' E	41km	M5.8
秋田県	震度 2 : 能代市上町* 井川町北川尻* 三種町森岳* 秋田市雄和女米木 秋田市河辺和田* 秋田市雄和新波* 由利本荘市鳥海町伏見* 由利本荘市西目町沼田* 由利本荘市東由利老方* 由利本荘市矢島町矢島町* 由利本荘市前郷* にかほ市平沢* 横手市雄物川町今宿 横手市大森町* 横手市大雄* 横手市平鹿町浅舞* 湯沢市沖鶴 湯沢市川連町* 羽後町西馬音内* 東成瀬村田子内* 秋田美郷町土崎* 大仙市刈和野* 大仙市北長野* 大仙市南外* 大仙市太田町太田* 大仙市大曲花園町* 大仙市高梨* 大仙市神宮寺* 仙北市角館町中菅沢 仙北市西木町上松木内* 仙北市田沢湖生保内上清水* 仙北市角館町小勝田* 仙北市田沢湖生保内宮ノ後* 震度 1 : 能代市緑町 能代市追分町* 能代市二ツ井町上台* 藤里町藤琴* 五城目町西磯ノ目 八郎潟町大道* 大潟村中央* 潟上市昭和大久保* 潟上市飯田川下虻川* 潟上市天王* 三種町鶴川* 三種町鹿渡* 秋田市山王 秋田市八橋運動公園* 由利本荘市桜小路* 由利本荘市岩城内道川* 由利本荘市岩谷町* にかほ市金浦* にかほ市象潟町浜ノ田* 大館市桜町* 大館市比内町扇田* 鹿角市花輪* 小坂町小坂砂森* 上小阿仁村小沢田* 北秋田市花園町 北秋田市米内沢* 北秋田市新田目* 横手市安田柳堤地内* 横手市中央町* 横手市増田町増田* 横手市山内土淵* 横手市十文字町* 湯沢市寺沢* 湯沢市佐竹町* 湯沢市横堀* 湯沢市皆瀬* 秋田美郷町六郷東根 大仙市協和境唐松岳* 仙北市田沢湖田沢* 仙北市西木町上荒井*				

(注) 地震の震源要素等は暫定値であり、再調査により変更することがある。

各地の震度は秋田県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

「遠地地震・火山噴火による津波」

防災メモ

遠地地震に関する情報と津波警報等の発表

国外で発生した地震を「遠地地震」といい、この遠地地震に伴う津波を「遠地津波」と呼んでいます。

気象庁では、国外でマグニチュード7.0以上の地震が発生した場合や、海外の都市部など著しい被害が発生する可能性のある地域で規模の大きな地震を観測した場合などに、地震の発生から30分程度をめぐりに「遠地地震に関する情報」として、地震の発生時刻、発生場所（震源）およびその規模（マグニチュード）、日本や海外への津波の影響や観測状況について発表しています。津波の影響や観測状況に関しては、新たなデータに基づいて、随時情報を更新します（図1）。遠地津波については、日本沿岸での高さを予想し、被害のおそれがある場合、津波が到達する概ね2時間前までに津波警報等を発表します。

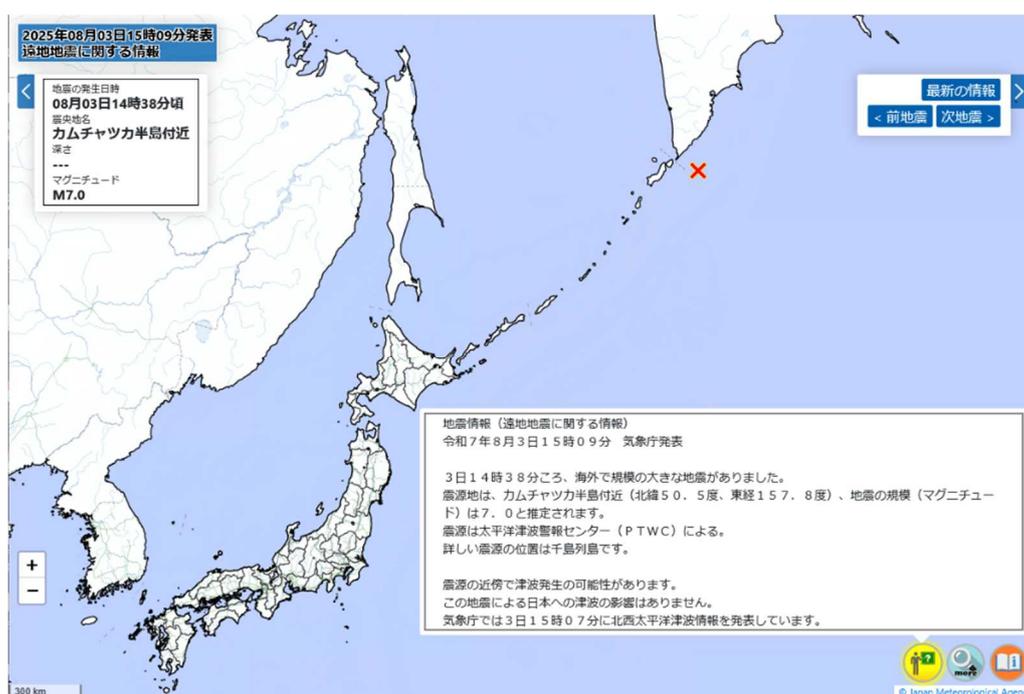
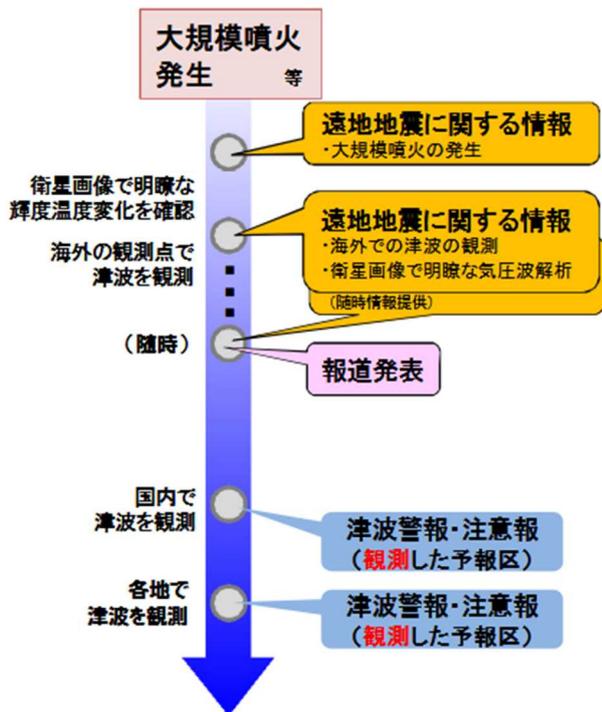


図1 遠地地震に関する情報の例（気象庁 HP）

火山噴火等による津波

津波は地震に伴い発生することが多いですが、火山噴火や山体崩壊等の火山現象が要因で発生することもあります。令和4年1月には、南太平洋トンガ諸島での大規模火山噴火に伴い発生した気圧波により、鹿児島県の奄美市小湊で134cm、岩手県の久慈港で107cm、また、山形県の酒田で21cm、秋田でも11cmと太平洋沿岸の他、日本海沿岸を含む全国で津波を観測しました。また、北海道では、過去に渡島大島や北海道駒ヶ岳の山体崩壊に伴った津波による大きな被害が発生した記録があります。この火山噴火等による津波も、津波警報・注意報を用いて注意・警戒を呼びかけます（図2、図3）。国外の大規模火山噴火等により津波発生の可能性がある場合は、噴火発生から1時間半～2時間程度で遠地地震に関する情報を発表してお知らせします。

ただし、津波の原因となる火山現象等を覚知できないこともあります。覚知できたとしてもこれらの津波は規模の予想が極めて困難なため、津波警報等は、原則として国内沿岸に到達した津波の観測状況に基づき発表することになります。また、その内容は随時切替えることがありますので、十分な留意が必要です。



■大規模噴火による気圧波に伴う津波

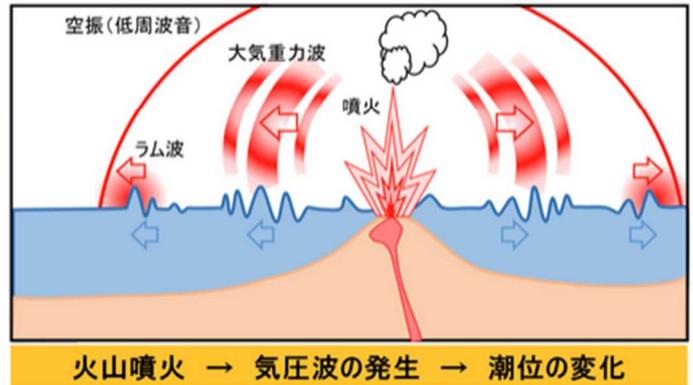
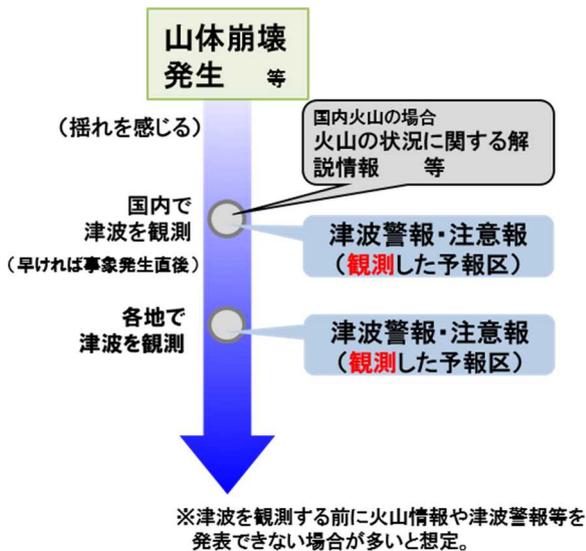


図2 海外の火山噴火に伴う気圧波による津波の情報発表の流れ



■火山活動による山体崩壊に伴う津波

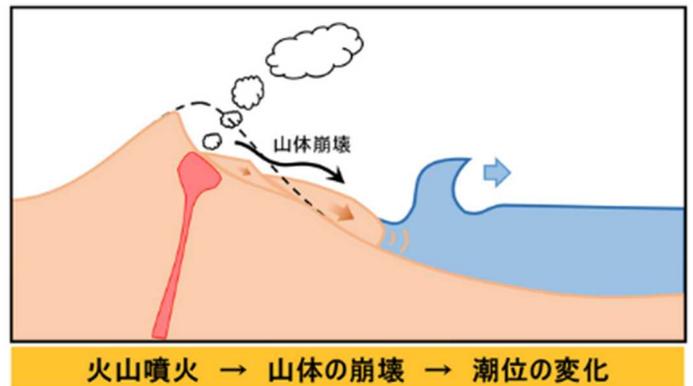


図3 火山活動による山体崩壊に伴う津波の情報発表の流れ

津波警報等が発表された際の避難行動

遠地地震や海外の火山噴火等で発生する津波の場合でも、津波警報等が発表された際に取りべき行動は、日本付近で発生した地震による津波と変わりません。遠く離れた海外で発生した地震や噴火では国内で揺れを感じることはありませんが、決して油断せず、津波警報等が発表されたら危険な場所から避難し、警報等が解除されるまで避難行動をとり続けてください。

遠地地震や海外の火山噴火等による津波に対して正しい知識を持ち、もしもの時に落ち着いて行動できるよう備えておきましょう。